

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

シュロアバード行政郡ドギストン地区ドギストン村第4 中等学校建設計画供与式報告

6月6日、シャムツシディーニー・ショーヒン行政郡ドギストン地区ドギストン村にて「シュロアバード行政郡ドギストン地区ドギストン村第4 中等学校建設計画」の供与式典が行われました。

シャムツシディーニー・ショーヒン行政郡は、首都ドウシャンベ市より南東へ約3時間の距離にあり、人口約50,000を有します。住民の多くは農業に従事しており、小麦や豆、りんごなどの果物類を生産しています。

本計画対象となったドギストン地区ドギストン村第4 中等学校は、人口増加により生徒の数に対して十分な教室を確保することができずにいました。そのため、第5学年から9学年の生徒は本来1日2交代制で授業を実施していたところを3交代制で行っており、日没の早い冬季の通学時の安全の問題や、制約された授業時間によりカリキュラム未消化のままの進級しなければならないなどの問題を抱えていました。

今般本計画を通じ、新校舎が建設されたことにより、1年生から11年生まで児童・生徒が約480人が快適な環境で学習することができるようになりました。

※なお、シュロアバード行政郡は2016年2月に、シャムツシディーニー・ショーヒン行政郡に改名されました。



学校関係者や保護者、児童・生徒、地域の人々が見守る中行われたテープカットの様子。



本計画により建設された校舎の内部及び供与された教育備品。供与された教育備品には、日本の支援を示すステッカーが添付されていました。



供与式に集まった多くの児童・生徒は新しい校舎に大喜びでした。



行政郡長からは日本の支援に対して感謝が述べられました。